

すべてのカタチに理由がある BAJA1000直系の 絶対性能

ブラック
シャンファーマシニング (BC)



カットクリア
(MSP)

CRAG クラッグ・ガルバトレ GALVATRE

[SIZE & PRICE]

- 16×7.0J: 6万1600円・7万2600円
- 16×7.5J: 6万2700円・7万3700円
- 16×8.0J: 6万3800円・7万4800円
- 16×8.5J: 6万4900円・7万5900円
- 16×9.0J: 6万6000円・7万7000円

ワーク

WORK

①ワーク www.work-wheels.co.jp/
☎048-688-7555 (東日本コールセンター)
☎06-6746-2859 (西日本コールセンター)
☎052-777-4512 (中日本コールセンター)

文=湯目由明 text by Yoshiaki Yunome

1990年代半ばに熱を帯びたRVブーム。クラッグはバジェロやハイラックスサーフなど6穴の車種をターゲットにした3ピースのオフロードホイールとしてアフター市場を席巻。リフトアップやオ

ーバーフェンダーといった上級カスタムに組み立て式ホイールは欠かせない存在。4×4ホイールの「王者」が装いも新たにワークのノウハウを注ぎ込み、ガルバトレとして凱旋。

「泥道とかデザート(砂地)を走り続けていると、ブレーキの放熱でそれらが炭化してナットの穴に固着しちゃう。穴が奥まっているとレンチがかからないから、なるべくディスク面を手前に出してもらいました」これは、メキシコのオフロードレースBAJA1000をワークとともに戦うオフロードレーサー、堀郁夫選手が実戦で培った知見を生かした市販モデル「ティーグラビック」を開発したときのエピソードだ。

ティーグラビックを筆頭に本格派のオフローダーに認められるスペックを備えたワークの「クラッグ(CRAG)」ブランド。その3ピースモデルが「ガルバトレ」だ。かつてのRVブームの折、市場を席巻した同ブランドの主力アイテムがディスクとアウトター/インナーリムで構成される3ピース構造だったことから

「CRAGブランドの衝撃的な凱旋」という意味を名前に含ませた。無骨なオフロードタイヤとの組み合わせで映える4×4カスタムホイールの王道、ディッシュデザインを基調とし、ディスク外周のDウィンドウ、3ピース構造の証であるピアスポルトがアクセントになり、モノブロック(1ピース構造)が幅を利かすなかで鮮烈なイメージを与える。デリカD-5向けは16インチで、オーバーフエンダーに対応するサイズを設定。ディスクやリム、ピアスポルトなど1000通り以上の組み合わせが可能なカスタムオーダープランも選べるのは、組み立て式ホイールに長けたワークならではの。リフトアップ量やフェンダーの出幅に合わせてミリ単位でセッティングを突き詰める……3ピースホイールで奥深きカスタムの世界が広がる。



クラッグ・ティーグラビック

CRAG T-GRABIC

[SIZE & PRICE]

- 16×7.0J インセット38: 4万6200円

ハイスピードのビッグジャンプから着地しても壊れないタフネスに加え、砂や泥がナットホールに詰まりにくく、ホイール交換時に持ちやすいスポーク形状など、オフロードマイスター・堀郁夫選手のリクエストを盛り込んだ1ピース構造ホイール。ギアの重なり合いを表現したダブルギアスポークと、ビードロックリング風のリムフランジが立体感と唯一無二の存在感を生み出した。



アッシュドチタンカットリム
(AHGRC)



マットカーボンカットリム
(MGMRC)